

i-Size(アイサイズ)
チャイルドシート/ブースターシート
型式/TYPE : WD016

規則/Regulation No.129/03
サイズ範囲/Size Range
身長40cmから125cm

リーマン株式会社 www.leman.co.jp
〒496-0911 愛知県豊田市西保町南川原68-1
お客様相談室 TEL. (0567) 27-0173
受付時間 月曜日～金曜日 (祝日・弊社指定休日は除きます)
AM10:00-12:00 PM1:00-5:00

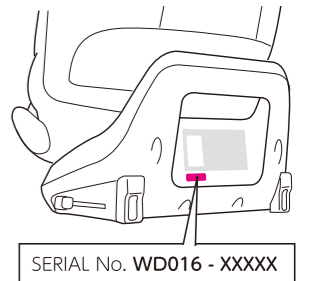
*製品には万全を期しておりますが、万一不都合な点がございましたら当社お客様相談室へご連絡ください。
*製品の性能向上のため、予告なく仕様を変更することがあります。

1. はじめにお読みください

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品は、正しく使用されている際にのみ安全性と快適性を発揮するよう設計されています。ご使用前に必ず本書をお読みの上、記載された内容にしたがって正しくお使いください。
チャイルドシートは、交通事故などの際にお子さまの傷害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。
この取扱説明書は、取扱説明書ポケットに入れて大切に保管し、必要に応じてお読みください。

はじめにシリアルNo.をお控えください。

左記の保証書、および同梱の「チャイルドシート保険兼お客様登録ハガキ」に「シリアルNo.」の記入欄があります。
車両への取付けをおこなう前に本製品の背面下方にある「シリアルNo.」をお控えください。
*車両への取付け後、車両シートでシリアルNo.が見えにくい場合があります。

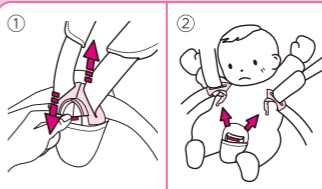


こちらからweb登録ができます。



2. 緊急時には・・・

衝突などの緊急時には、あわてず速やかにお子さまを救出してください。



①バックルの赤いボタンを押し、タンブをはずします。
②幼児ベルトをお子さまからはずし、お子さまを救出してください。



バックルの赤いボタンを押しても、タンブがはずれない場合はシートベルトカッター(市販品)などでベルトを切断してお子さまを救出してください。

3. 重要

3-1. R129とは i-Sizeとは

R129とは、精度の高いダミー人形の使用や側面衝突に関する試験等、これまで以上に厳しい内容を定めたチャイルドシートに関する国連規則です。
i-Sizeとは、お客様が簡単・確実に取り付けることが出来るISOFIX固定方式を用いたチャイルドシートのカテゴリです。i-Size適合車両のシートには、全般的に適合します。*それ以外の車両のシートについては、車両適合表をご確認ください。またi-Sizeチャイルドシートでは、お子さまの成長にあわせて性能を発揮するために、お子さまの身長にあわせて使用方法とし、生後15ヶ月までは後向きでの使用が義務付けられています。



3-2. ISOFIXとは

ISOFIX(アイソフィックス)とは、国際標準化機構によって定められた車両のシートにチャイルドシートを固定する方式で、車両シートに設置されたISOFIX取付け金具を使います。本製品は、i-Size適合の車両だけでなく、ISOFIX表記マークのある車両に使用することができます。



3-3. 適合の確認

- 本製品は、i-Size(アイサイズ)幼児用束装置です。
- 本製品は、車両メーカーの取扱説明書によって示されるアイサイズ適合車両の着座位置で主に使用するものとしてUN規則No.129(UN R129/03)に基づいて認可されています。
- 本製品は、お子さまの身長に対し、右表のISOFIXチャイルドシートに対応した車両に取り付けことができますが、ISOFIX取付け金具を装備したすべての車両に取り付けられるものではありません。弊社の車両適合表及び、車両メーカーの取扱説明書をご確認ください。

身長	設置向き	設置方法	カテゴリ
40-105cm	後向き	ISOFIX + サポートレッグ + 幼児ベルト	I-SIZE
76-105cm	前向き	ISOFIX + サポートレッグ + 幼児ベルト	
100-125cm	前向き	車両3点式シートベルト + ISOFIX	I-SIZE ブースターシート
		車両3点式シートベルト	

3-4. 取付け可能な車両シートベルトの種類

シートベルトの種類と特徴		前向き取付け注意点	
ELR	ゆっくり引くと自由に入り出し、勢いよく引くとロックする。	○	ゆっくりとシートベルトを引き出して取付けてください。
AELR	シートベルトを全て引き出した後で巻き戻すと自動的に縛まり、それ以上伸びなくなる(シートベルトを全て巻き戻すと解除される)。	○	シートベルトを全て引き出すと危険です。シートベルトを一度戻して、チャイルドシート固定機能を解除してから取付けてください。
その他	上記にあてはまらないシートベルト。	×	使用できません。

適合が不明な場合は、購入店、取扱代理店またはメーカーまでご連絡ください。

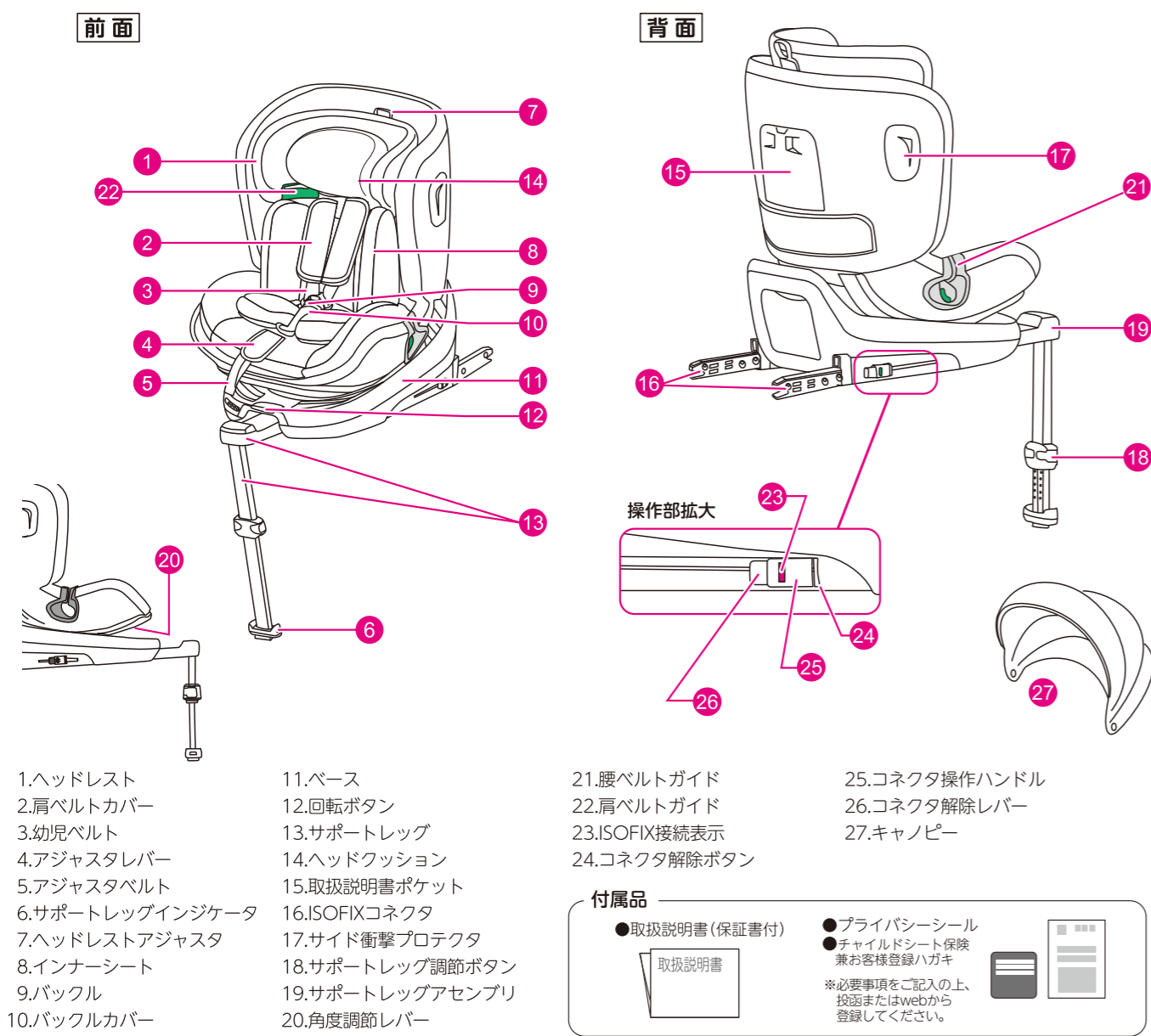
3-5. 取付けできないシート

- ISOFIX取付け金具が装備されていないシート。前向き取付け時に取付け金具を使用しない取付け方法があります。
- 横向き、後向きになっているシート。(衝突の際にショックを吸収できません。)
- チャイルドシートを取付けることと運転操作の妨げや、視界の妨げになるシート。
- 前方にエアバッグが装備されているシート。(サイドエアバッグのみは使用できます。)
- 助手席には取り付けてください。
- 足下に床下収納ボックスが装備されているシート。
- 極端なバケットシート等、しっかりと固定できないシート。

3-6. 作業スペースの確保

- 安全に取付け作業をおこなうため、次のように作業スペースを確保してください。
- 取付け作業は、ドアの全開閉操作が可能、平坦な場所でおこなってください。
 - 車内の作業スペースを確保するため、前座席を前に倒したり、できるだけ前にスライドさせてから取付けてください。
 - 車両座席がクライミングで倒れている場合は、標準の位置、または車両の取扱説明書で指示されている位置に戻してください。

4. 各部名称



- | | | | |
|-----------------|-----------------|---------------|---------------|
| 1.ヘッドレスト | 11.ベース | 21.腰ベルトガイド | 25.コネクタ操作ハンドル |
| 2.肩ベルトカバー | 12.回転ボタン | 22.肩ベルトガイド | 26.コネクタ解除レバー |
| 3.幼児ベルト | 13.サポートレッグ | 23.ISOFIX接続表示 | 27.キャンビー |
| 4.アジャスタレバー | 14.ヘッドクッション | 24.コネクタ解除ボタン | |
| 5.アジャスタベルト | 15.取扱説明書ポケット | | |
| 6.サポートレッグインジキータ | 16.ISOFIXコネクタ | | |
| 7.ヘッドレストアジャスタ | 17.サイド衝撃プロテクタ | | |
| 8.インナーシート | 18.サポートレッグ調節ボタン | | |
| 9.バックル | 19.サポートレッグアセンブリ | | |
| 10.バックルカバー | 20.角度調節レバー | | |

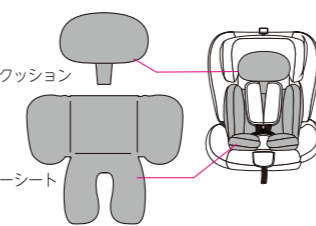
- 付属品
- 取扱説明書(保証書付)
 - 取扱説明書
 - プライバシーシール
 - チャイルドシート保険兼お客様登録ハガキ
- *必要事項をご記入の上、投函またはwebから登録してください。

5. 使用条件

	ベビーモード	チャイルドモード	ハイバックモード
身長	40cm～105cm		100cm～125cm
取付け方向	後向き取付け	前向き取付け	前向き取付け サポートレッグなし
固定方法	ISOFIXコネクタ + サポートレッグ + 幼児ベルト	ISOFIXコネクタ + サポートレッグ + 幼児ベルト	A. ISOFIXコネクタ + 車両3点式シートベルト もしくは B. 車両3点式シートベルトのみ <small>サポートレッグは使用しません。</small>
インナークッション	身長が75cm以下	75cm<身長≤125cm	

5-2. インナークッションの使用

注意 お子さまの身長が75cm以下の場合、チャイルドシートにヘッドクッション+インナーシートを取り付けてください。



注意 お子さまの身長が75cmを超える場合は、ヘッドクッション+インナーシートは使用しないでください。

5-3. キャンビー使用条件と警告

- 身長: 40～75cm(月齢が15ヶ月まで)のお子さまで[27:キャンビー]をご使用いただけます。
- 警告 キャンビーは、後向き専用のパーツです。前向きで使用する時衝突時に本来の性能を発揮できず重大な害を負う可能性があります。
- キャンビーは、お子さまの身長: 40～75cm(月齢が15ヶ月まで)を超えた場合や、お子さまの手が届いたり身体に触れる場合は、使用しないでください。



6. 事前準備

6-1. 幼児ベルト調節のしかた

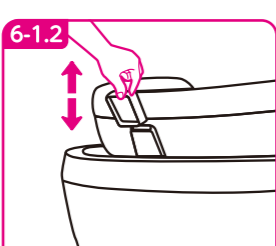
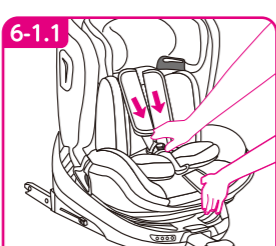
幼児ベルトをゆるめる
[4:アジャスタレバー]の奥側を押しながら、左右両方(2本)の[3:幼児ベルト]を同時に手前に引き出す。

[3:幼児ベルト]をゆるめる際は[2:肩ベルトカバー]を持って引っ張らないでください。

幼児ベルト高さ調整

ヘッドレスト高さを変更すると、連動して幼児ベルト高さが変わります。
[7:ヘッドレストアジャスタ]を引いた状態を保ったまま[1:ヘッドレスト]を上または下へ動かす。

上げる場合は、ヘッドレストの下から持ち上げ、下げる場合は、ヘッドレストの上から引き下ろす要領で行います。



幼児ベルト位置の目安

- 肩ベルトの位置は、お子さまの肩の高さにあわせて適正な位置を選んで使用してください。
- 工場出荷時は、一番下の位置にセットされています。

チャイルドシートを車両に取付ける前に、[1:ヘッドレスト]をお子さまに適した高さに調整し、[1:ヘッドレスト]を軽く上下させて正しくかみ合っていることを確認してください。
調整可能な[1:ヘッドレスト]の位置は9つあります。[3:幼児ベルト]が出る位置が、肩と同じ高さになるように調整してください。同じにならない場合は、一段高い位置を使用してください。

6-2. リクライニングのしかた

「後向き」「前向き」使用時、お子さまの身長にかかわらず、5段階に角度を調節することができます。

本製品には5段階の角度調整が可能です。位置を変えるには、シートの前下方にある[20:角度調節レバー]をつかみながら、「カチッ」という音聞こえるまで、希望の位置まで前後に移動させます。

後向き使用での調整
身長40-105cmの場合は、後向きで使用して調整します。

前向き使用での調整
身長76-105cmおよび100-125cmの場合は、前向きで使用して調整します。



6-3. サポートレッグを開く

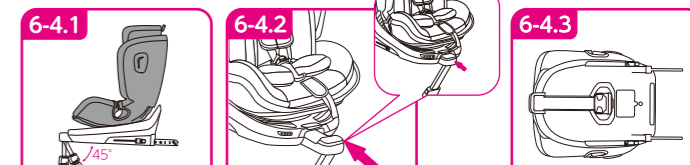
はじめに、シートの下部から[13:サポートレッグ]を取り出します。[13:サポートレッグ]を45°起こすと、[19:サポートレッグアセンブリ]を前側に引き出すことができます。



注意 シートは、[19:サポートレッグアセンブリ]が伸びている場合にのみ回転できます。

6-4. サポートレッグをたたむ

[13:サポートレッグ]を45°まで倒し、[19:サポートレッグアセンブリ]を完全に本体内部の所定の位置に収まるまで押し込みます。最後に、[13:サポートレッグ]をシート下部のスロットにたたくように納めます。



7. 車両への取付け お子さまの身長 40-105cm 後向き取付け ISOFIXコネクタ + サポートレッグ + 幼児ベルト

7-1. 車両への取付け

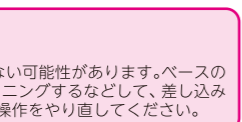
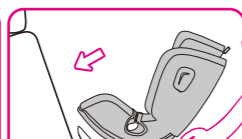
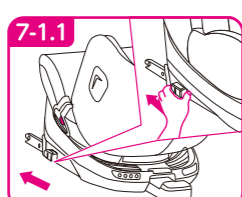
所定の位置にロックされるまで[13:サポートレッグ]を広げます。
[24:コネクタ解除ボタン]を押しながら、[26:コネクタ解除レバー]を押す、そのまま矢印方向に移動させ、[16:ISOFIXコネクタ]を最大限引き伸ばします。
(左右のISOFIXコネクタを引き伸ばします。)

注意 [16:ISOFIXコネクタ]が最後までスライドして赤いマークが表示された場合にのみ、次のステップに進んでください。

「カチッ」という音が聞こえるまで、[16:ISOFIXコネクタ]を車両アンカーに直接押し込みます。

[23:ISOFIX接続表示]が赤色から緑色に変わった事を確認してください。
シートを前に引き、車両と[16:ISOFIXコネクタ]が確実にロックされている事を確認してください。

うまくいかない時は、
●ISOFIX接続表示が緑色にならない。
→車両のISOFIX取付け金具にしっかり接続されていない可能性があります。ベースの前方を少し持ち上げる、または車両シートをリクライニングするなどして、差し込み角度を調整し、もう一度ISOFIXコネクタの差し込み操作をやり直してください。



[18:サポートレッグ調整ボタン]を握り、[13:サポートレッグ]が床にしっかりと固定されるまで引き出します。
[6:サポートレッグのインジゲータ]が緑になっていることを確認します。

注意 ●シートが前向きまたは後向きに位置にない場合、運転しないでください。
●ベース背面やシートの背面、角度調整レバーの下のすき間に指や手などをいれたまま、回転操作をしないでください。
●お子さまを乗せた状態のときは、ゆっくりと回転させ、お子さまの手足が本体などにぶつからないよう、また、ベースとシートの間などにはさまれないようご注意ください。
●(後向き)使用時、お子さまの足がベース背面にある開口部に入った状態で回転操作をしないでください。
●チャイルドシートの背もたれを閉じた状態で回転させないでください。ドアを開けた際に背もたれとドアがぶつかって製品やお車の故障の原因になる場合があります。

警告 ●無理に操作すると故障の原因になります。車両ヘッドレストが取りはずせる場合は、取りはずしてご使用ください。
●車両ヘッドレストをはずしても操作ができない場合、その座席では使用しないでください。

注意 ●シートが前向きまたは後向きに位置にない場合、運転しないでください。
●ベース背面やシートの背面、角度調整レバーの下のすき間に指や手などをいれたまま、回転操作をしないでください。
●お子さまを乗せた状態のときは、ゆっくりと回転させ、お子さまの手足が本体などにぶつからないよう、また、ベースとシートの間などにはさまれないようご注意ください。
●(後向き)使用時、お子さまの足がベース背面にある開口部に入った状態で回転操作をしないでください。
●チャイルドシートの背もたれを閉じた状態で回転させないでください。ドアを開けた際に背もたれとドアがぶつかって製品やお車の故障の原因になる場合があります。

7-2. お子さまを乗せる

6-1を参考に[3:幼児ベルト]の調整をします。
[4:アジャスタレバー]の奥側を押しながら、左右2本の[3:幼児ベルト]を同時に手前に引き出します。

お子さまの身長が87cm以下の場合は、[3:幼児ベルト]の[9:バックル]をスロットAに移動します。
お子さまの身長が87<x<105cmの場合は、[3:幼児ベルト]の[9:バックル]をスロットBに移動します。

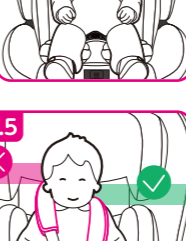
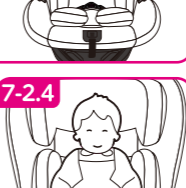
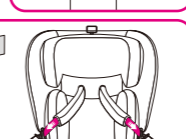
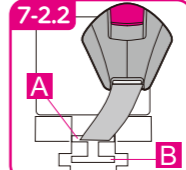
赤いボタンを押してタンクをはずし、チャイルドシートの側面に幼児ベルトをセットします。

警告 ●夏場などは金属部が熱くなりやすいのでやけどに注意してください。

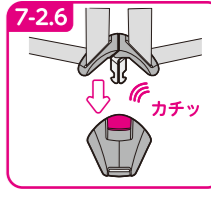
[3:幼児ベルト]を左右に開いてお子さまの座るスペースを確保する。
[9:バックル]がお子さまの股の間に収まるようにして、お子さまをシートの奥深くに座らせる。

注意 ●正座しないようにしてください。
●おしりとクッションの間にすき間ができないように深く座らせてください。

6-1を参考に[1:ヘッドレスト]の高さを調整します。
[1:ヘッドレスト]を正しく調整することで、お子さまを最適に保護することができます。[1:ヘッドレスト]は、[3:幼児ベルト]がお子さまの肩と同じ高さになるか少し上になるように調整してください。



左右のタンクを重ね合わせ、「カチッ」という音がするまで[9:バックル]に差し込みます。



[3:幼児ベルト]をお子さまの肩の中央と腰骨の出来るだけ低い位置にかけ、[5:アジャスタレバー]をまっすぐ手前に引き、左右の幼児ベルトのたるみをなくし、お子さまに密着させる。

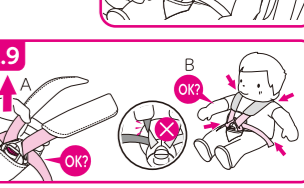


警告 ●[5:アジャスタレバー]を斜めに引くとベルトを傷め、お子さまをしっかり拘束できなくなる可能性があります。

[3:幼児ベルト]の調節のめやすとしては、お子さまの鎖骨と[2:肩ベルトカバー]の間に指一本入る程度が適切です。ゆるかったり、きつかったりときは、[3:幼児ベルト]の長さを調節してください。



拘束ポイントを確認する
A [3:幼児ベルト]を引っ張って、[9:バックル]やベルトがゆるまないか確認する。
B [3:幼児ベルト]がねじれたりせずに、お子さまの肩の中央と腰骨の出来るだけ低い位置を通っているか確認する。



シートを回転させ、「後向き」にして固定する。シートを回転方向にゆすり、動かない事を確認してください。

警告 ●お子さまの月齢が15ヶ月までは後向きで使用してください。
●横向きの状態では使用しないでください。



警告 ●この使用条件では、18kgを超えるお子さまには使用できません。5.使用条件参照

8. 車両への取付け お子さまの身長 76-105cm 前向き取付け ISOFIXコネクタ + サポートレッグ + 幼児ベルト

8-1. 車両への取付け

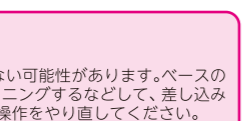
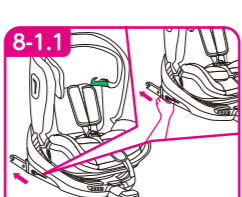
所定の位置にロックされるまで[13:サポートレッグ]を広げます。
[24:コネクタ解除ボタン]を押しながら、[26:コネクタ解除レバー]を押す、そのまま矢印方向に移動させ、[16:ISOFIXコネクタ]を最大限引き伸ばします。
(左右のISOFIXコネクタを引き伸ばします。)

注意 [16:ISOFIXコネクタ]が最後までスライドして赤いマークが表示された場合にのみ、次のステップに進んでください。

「カチッ」という音が聞こえるまで、[16:ISOFIXコネクタ]を車両アンカーに直接押し込みます。

[23:ISOFIX接続表示]が赤色から緑色に変わった事を確認してください。
シートを前に引き、車両と[16:ISOFIXコネクタ]が確実にロックされている事を確認してください。

うまくいかない時は、
●ISOFIX接続表示が緑色にならない。
→車両のISOFIX取付け金具にしっかり接続されていない可能性があります。ベースの前方を少し持ち上げる、または車両シートをリクライニングするなどして、差し込み角度を調整し、もう一度ISOFIXコネクタの差し込み操作をやり直してください。



[18:サポートレッグ調整ボタン]を握り、[13:サポートレッグ]が床にしっかりと固定されるまで引き出します。
[6:サポートレッグのインジゲータ]が緑になっていることを確認します。

注意 ●シートが前向きまたは後向きに位置にない場合、運転しないでください。
●ベース背面やシートの背面、角度調整レバーの下のすき間に指や手などをいれたまま、回転操作をしないでください。
●お子さまを乗せた状態のときは、ゆっくりと回転させ、お子さまの手足が本体などにぶつからないよう、また、ベースとシートの間などにはさまれないようご注意ください。
●チャイルドシートの背もたれを閉じた状態で回転させないでください。ドアを開けた際に背もたれとドアがぶつかって製品やお車の故障の原因になる場合があります。

警告 ●無理に操作すると故障の原因になります。車両ヘッドレストが取りはずせる場合は、取りはずしてご使用ください。
●車両ヘッドレストをはずしても操作ができない場合、その座席では使用しないでください。

注意 ●シートが前向きまたは後向きに位置にない場合、運転しないでください。
●ベース背面やシートの背面、角度調整レバーの下のすき間に指や手などをいれたまま、回転操作をしないでください。
●お子さまを乗せた状態のときは、ゆっくりと回転させ、お子さまの手足が本体などにぶつからないよう、また、ベースとシートの間などにはさまれないようご注意ください。
●チャイルドシートの背もたれを閉じた状態で回転させないでください。ドアを開けた際に背もたれとドアがぶつかって製品やお車の故障の原因になる場合があります。

8-2. お子さまを乗せる

6-1を参考に[3:幼児ベルト]の調整をします。
[4:アジャスタレバー]の奥側を押しながら、左右2本の[3:幼児ベルト]を同時に手前に引き出します。

お子さまの身長が87cm以下の場合は、[3:幼児ベルト]の[9:バックル]をスロットAに移動します。
お子さまの身長が87<x<105cmの場合は、[3:幼児ベルト]の[9:バックル]をスロットBに移動します。

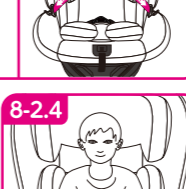
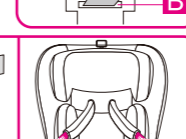
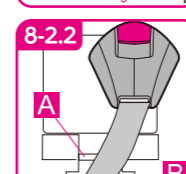
赤いボタンを押してタンクをはずし、チャイルドシートの側面に幼児ベルトをセットします。

警告 ●夏場などは金属部が熱くなりやすいのでやけどに注意してください。

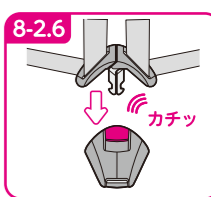
[3:幼児ベルト]を左右に開いてお子さまの座るスペースを確保する。
[9:バックル]がお子さまの股の間に収まるようにして、お子さまをシートの奥深くに座らせる。

注意 ●正座しないようにしてください。
●おしりとクッションの間にすき間ができないように深く座らせてください。

6-1を参考に[1:ヘッドレスト]の高さを調整します。
[1:ヘッドレスト]を正しく調整することで、お子さまを最適に保護することができます。[1:ヘッドレスト]は、[3:幼児ベルト]がお子さまの肩と同じ高さになるか少し上になるように調整してください。



左右のタンクを重ね合わせ、「カチッ」という音がするまで[9:バックル]に差し込みます。



[3:幼児ベルト]をお子さまの肩の中央と腰骨の出来るだけ低い位置にかけ、[5:アジャスタレバー]をまっすぐ手前に引き、左右の幼児ベルトのたるみをなくし、お子さまに密着させる。

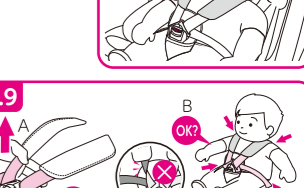


警告 ●[5:アジャスタレバー]を斜めに引くとベルトを傷め、お子さまをしっかり拘束できなくなる可能性があります。

幼児ベルトの調節のめやすとしては、お子さまの鎖骨と肩ベルトの間に指一本入る程度が適切です。ゆるかったり、きつかったりときは、幼児ベルトの長さを調節してください。

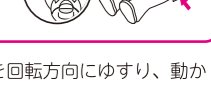


拘束ポイントを確認する
A [3:幼児ベルト]を引っ張って、[9:バックル]やベルトがゆるまないか確認する。
B [3:幼児ベルト]がねじれたりせずに、お子さまの肩の中央と腰骨の出来るだけ低い位置を通っているか確認する。



シートを回転させ、「前向き」にして固定する。シートを回転方向にゆすり、動かない事を確認してください。

警告 ●お子さまの月齢が15ヶ月までは後向きで使用してください。
●横向きの状態では使用しないでください。



警告 ●76cm未満のお子さまは、「後向き」で使用してください。
●この使用条件では、18kgを超えるお子さまには使用できません。5.使用条件参照

9. 車両への取付け お子さまの身長 100-125cm 前向き取付け ※固定の仕方には下記 A, B, 2通りがあります。

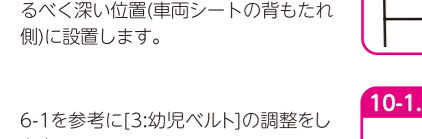
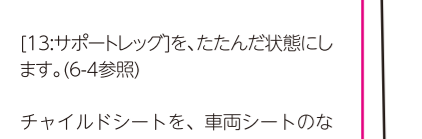
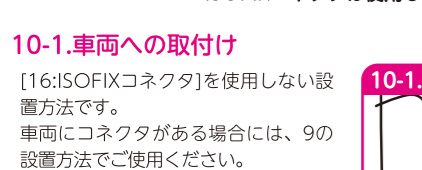
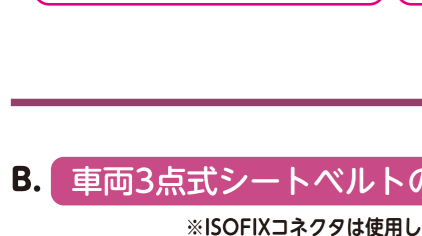
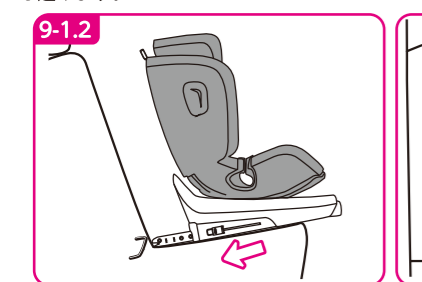
A. ISOFIXコネクタ + 車両3点式シートベルト

9-1. 車両への取付け

[13:サポートレッグ]を、ただただ状態にします。(6-4参照)
[24:コネクタ解除ボタン]を押しながら、[26:コネクタ解除レバー]を押す、そのまま矢印方向に移動させ、[16:ISOFIXコネクタ]を最大限引き伸ばします。
(左右のISOFIXコネクタを引き伸ばします。)

注意 [16:ISOFIXコネクタ]が最後までスライドして赤いマークが表示された場合にのみ、次のステップに進んでください。

「カチッ」という音が聞こえるまで、[16:ISOFIXコネクタ]を車両アンカーに直接押し込みます。



[23:ISOFIX接続表示]が赤色から緑色に変わった事を確認してください。
シートを前に引き、車両と[16:ISOFIXコネクタ]が確実にロックされている事を確認してください。

シートを前に引き、車両と[16:ISOFIXコネクタ]が確実にロックされている事を確認してください。
シートを前に引き、車両と[16:ISOFIXコネクタ]が確実にロックされている事を確認してください。

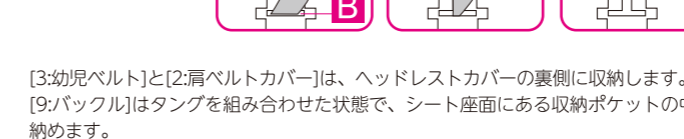
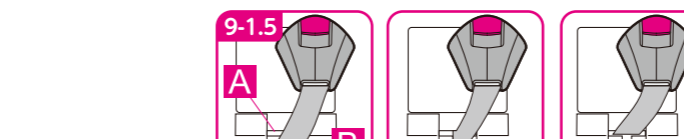
うまくいかない時は、
●ISOFIX接続表示が緑色にならない。
→車両のISOFIX取付け金具にしっかり接続されていない可能性があります。ベースの前方を少し持ち上げる、または車両シートをリクライニングするなどして、差し込み角度を調整し、もう一度ISOFIXコネクタの差し込み操作をやり直してください。

6-1を参考に[3:幼児ベルト]の調整をします。
[4:アジャスタレバー]の奥側を押しながら、左右2本の[3:幼児ベルト]を同時に手前に可能な限り引き出します。

注意 ●インナークッションは使用しません。
●幼児ベルトは使用しません。



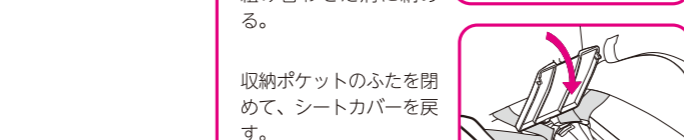
お子さまの身長が100-125cmの場合、[3:幼児ベルト]の[9:バックル]は使用しません。
[3:幼児ベルト]の[9:バックル]をスロットAに移動します。



[3:幼児ベルト]と[2:肩ベルトカバー]は、ヘッドレストカバーの裏側に収納します。
[9:バックル]はタンクを組み合わせた状態で、シート座面にある収納ポケットの中に納めます。

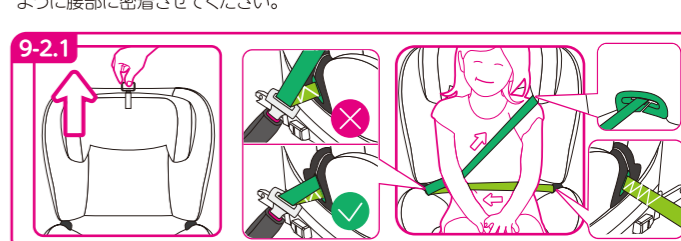


シートカバーをはずし、収納ポケットのふたを開ける。
[9:バックル]はタンクを組み合わせた満に納める。
収納ポケットのふたを閉めて、シートカバーを戻す。



9-2. お子さまを乗せる

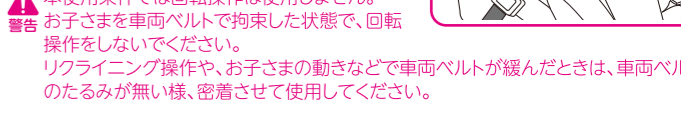
車両のベルトでお子さまを拘束します。
ヘッドレストの高さを一番高い位置に調整し、お子さまを奥深く座らせてください。
車両ベルトを引き出し、チャイルドシートの[22:肩ベルトガイド]と[21:腰ベルトガイド]を通し、車両バックルに「カチッ」と音がするまで差し込みます。
ベルトガイド部は、緑色に着色されています。
肩ベルトガイドは、片側のみ使用します。
車両ベルト(腰骨)は、腰骨の出来るだけ低い位置にかかると調整し、たるみがないように腹部に密着させてください。



[1:ヘッドレスト]を調整し、[22:肩ベルトガイド]が肩と同じ高さか、やや高めの位置になるように調整してください。

警告 ●次のような座らせ方は、ジュニアシートが本来の機能を果たさず、危険です。
●体を左右どちらかに傾けて座る。
●立てひざ・中腰・正座などをやる。
●前かがみになる、のけぞる。

警告 ●お子さまの腕は必ず車両シートベルトの上に出してください。
●本使用条件では回転操作は使用しません。お子さまを車両ベルトで拘束した状態で、回転操作をしないでください。
●リクライニング操作や、お子さまの動きなどで車両ベルトが緩んだときは、車両ベルトのたるみがない様、密着させて使用してください。



B. 車両3点式シートベルトのみ

※ISOFIXコネクタは使用しません。

10-1. 車両への取付け

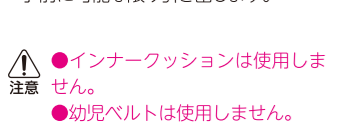
[16:ISOFIXコネクタ]を使用しない設置方法です。
車両にコネクタがある場合には、9の設置方法でご使用ください。

[13:サポートレッグ]を、ただただ状態にします。(6-4参照)

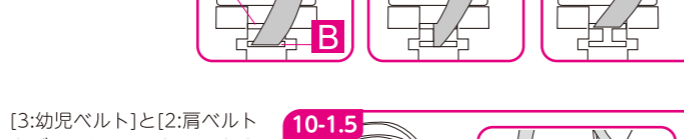
チャイルドシートを、車両シートのなるべく深い位置(車両シートの背もたれ側に)設置します。

6-1を参考に[3:幼児ベルト]の調整をします。
[4:アジャスタレバー]の奥側を押しながら、左右2本の[3:幼児ベルト]を同時に手前に可能な限り引き出します。

注意 ●インナークッションは使用しません。
●幼児ベルトは使用しません。

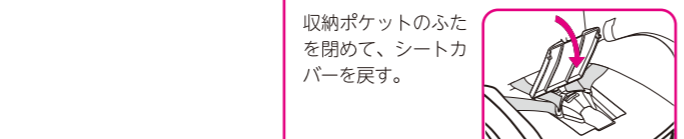
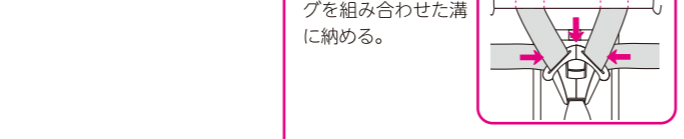


お子さまの身長が100-125cmの場合、[3:幼児ベルト]の[9:バックル]は使用しません。
[3:幼児ベルト]の[9:バックル]をスロットAに移動します。



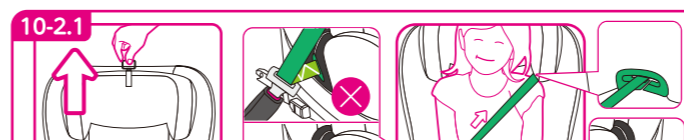
[3:幼児ベルト]と[2:肩ベルトカバー]は、ヘッドレストカバーの裏側に収納します。
[9:バックル]はタンクを組み合わせた状態で、シート座面にある収納ポケットの中に納めます。

シートカバーをはずし、収納ポケットのふたを開ける。
[9:バックル]はタンクを組み合わせた満に納める。
収納ポケットのふたを閉めて、シートカバーを戻す。



10-2. お子さまを乗せる

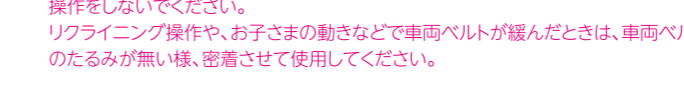
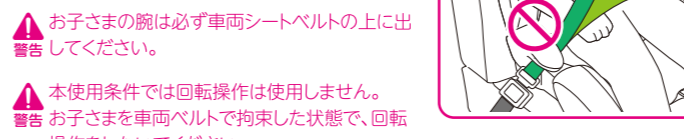
車両のベルトでお子さまを拘束します。
[1:ヘッドレスト]の高さを一番高い位置に調整し、お子さまを奥深く座らせてください。
車両ベルトを引き出し、チャイルドシートの[22:肩ベルトガイド]と[21:腰ベルトガイド]を通し、車両バックルに「カチッ」と音がするまで差し込みます。
ベルトガイド部は、緑色に着色されています。
肩ベルトガイドは、片側のみ使用します。
車両ベルト(腰骨)は、腰骨の出来るだけ低い位置にかかると調整し、たるみがないように腹部に密着させてください。



[1:ヘッドレスト]を調整し、[22:肩ベルトガイド]が肩と同じ高さか、やや高めの位置になるように調整してください。

警告 ●次のような座らせ方は、ジュニアシートが本来の機能を果たさず、危険です。
●体を左右どちらかに傾けて座る。
●立てひざ・中腰・正座などをやる。
●前かがみになる、のけぞる。

警告 ●お子さまの腕は必ず車両シートベルトの上に出してください。
●本使用条件では回転操作は使用しません。お子さまを車両ベルトで拘束した状態で、回転操作をしないでください。
●リクライニング操作や、お子さまの動きなどで車両ベルトが緩んだときは、車両ベルトのたるみがない様、密着させて使用してください。



11. お手入れ方法

シートカバーは本製品の安全性能に非常に重要であるため、必ず純正のカバーのみを使用してください。交換用のシートカバーは、小売店、代理店、またはメーカーから入手できます。チャイルドシートはカバーなしで使用しないでください。

日常のお手入れ方法

●取りはずしできるクッション類は取りはずしてから洗濯してください。(一部商品によっては無いものがあります)
●樹脂部は水では洗えません。固絞った濡れタオルや、乾いたタオルなどで拭いてください。
●掃除機などで、ほこりやごみを取ってください。
●飲み物など、しみの残りにくいものをこぼしたときは、乾かないうちに拭き取ってください。
●部品のお取り扱いには、型と品番を確認の上、購入店、取扱代理店またはメーカーまでご連絡ください。

警告 ●中性洗剤を原液で使用したり、ガソリン、ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。本体、表面の生地、ベルト類をいためるおそれがあります。

シートカバーなどの縫製製品の洗い方

●中性洗剤を使用して、水またはぬるま湯で押し洗いしてください。
●アイロン掛けはしないでください。
●酸素系漂白剤、塩素系漂白剤は使用しないでください。
●ドライクリーニングはしないでください。
●洗濯後は、脱水機、乾燥機はさず、タオルなどで押し絞り、風通しのよい日かげに干してください。

12. 保管/廃棄のしかた

保管 ●製品本体を長期使用しない場合は、車から降ろし、お子さまの手が届かない、風通しのよい場所で直射日光を避けて保管してください。

廃棄 ●お住まいの自治体の規定にしたがって処分、廃棄してください。
●衝突事故や製品を落下させるなど、一度でも強い衝撃を受けたチャイルドシートは、外観に破損がなくても絶対に使用しないでください。処分する場合は、本製品が再利用されないようシートカバーなどをはずして、廃棄してください。